



平成24年3月8日
内閣府（防災担当）

災害時多目的船に関する検討会（第2回）議事概要について

1. 第2回検討会の概要

日時：平成24年2月19日（日）10:00～12:00

場所：中央合同庁舎5号館 3階 A会議室

出席者：里見座長、浅野委員、井伊委員、小澤委員、小林委員、桜林委員、山本委員
原田内閣府政策統括官、福浦参事官 他

2. 議事概要

検討会委員の紹介、防衛省、海上保安庁及び事務局より資料説明ののち、各委員による意見交換を行った。

検討における主な意見等は次のとおり。

- 議論していく上で、海からの支援の位置づけを整理する必要がある。
 - ・ 海上でしか医療ができないという事態が起こった場合、船が一番重要になる。
- 物資輸送とか、情報収集とか、医療活動とか全部まとめて1隻の船とするにはあまりにも過大すぎる。災害にもいろいろ種類があり、いろいろな形でその都度変わってくるので、機能について整理する必要がある。
- 全体の防災計画の中で、海からの支援がどういう役割を持っていて、それに持たせるべき機能はどのようなものであるか、それが本当に現在ある船舶で対応しているか、対応できていないのであれば原因はなにかを検証する必要がある。
- 必要な機能を検討する上で、被災者の支援機能だけでなく、被災者を支援している方の支援をする機能も検討する必要がある。